

小平市 RSウイルス感染症予防接種のお知らせ【説明書】

1 RSウイルス感染症

乳幼児では、1歳までに半数以上が、2歳までにほぼ全員が感染するとされている感染症です。

感染すると、2～8日の潜伏期間の後、発熱、鼻汁、咳などの症状が数日続き、一部では気管支炎や肺炎などの下気道症状が出現します。初めて感染した乳幼児の約3割では、咳が悪化し、喘鳴（ゼーゼーと呼吸しにくくなること）や呼吸困難、さらに細気管支炎の症状が出るなど重症化することがあります。

2010年代の推計では、国内で年間に、2歳未満の乳幼児の約12～18万人にRSウイルス感染症が発生し、そのうちの約3～5万人（4人に1人程度の割合）が入院を要したとされています。

2 対象者

接種日時点で小平市に住所を有する、妊娠28週0日から36週6日までの方

3 RSウイルスワクチン

- ・組換えRSウイルスワクチンは、妊婦に接種することで、母体内で作られた抗体が胎盤を通じて胎児に移行し、生まれた新生児・乳児が出生時から病原体に対する予防効果を得ることを目的としています。
- ・RSウイルスワクチンの予防接種は、**対象者本人が、かかりつけの産婦人科医師とも相談の上で、接種を希望する場合に実施するものです。接種の義務はありません。**
- ・過去の妊娠時に接種している場合でも、妊娠毎に接種することができます。
- ・接種後14日以内に出生した新生児・乳児における有効性は確立していないことから、出産予定日より前に計画分娩を予定している場合などは、計画分娩等の予定日の14日前までに接種することが望ましいとされています。

母子免疫ワクチンの効果	生後90日時点	生後180日時点
医療受診を必要とした下気道感染症の予防	6割程度の予防効果	5割程度の予防効果
医療受診を必要とした 重症 下気道感染症の予防	8割程度の予防効果	7割程度の予防効果

4 接種方法

予診のうえ、1回0.5mLを筋肉内に注射する。

5 他のワクチンとの接種間隔・同時接種

医師が特に必要と認めた場合は、他のワクチンと同時接種が可能です。

ただし、海外の知見で、百日咳菌の防御抗原を含むワクチンとの同時接種で、百日咳菌の防御抗原に対する免疫応答が低下するとの報告があるため、接種間隔等については医師と相談してください。

6 接種場所

小平市RSウイルス感染症予防接種指定医療機関（別紙参照）

（※）里帰り先での接種など、指定医療機関以外での接種を希望する場合は、QRコードのリンク先を参照し、**必ず事前（接種の2週間程度前まで）に申請をしてください。**



小平市定期予防接種費用の
助成制度（償還払い）

7 接種費用

自己負担なし

8 持ちもの

母子健康手帳、RSウイルス感染症予防接種予診票

9 ワクチンの副反応

ワクチンを接種後に下表のような副反応がみられることがあります。また、頻度は不明ですが、アナフィラキシー（ショック症状、じんましん、呼吸困難など）がみられることがあります。

また、ワクチン接種による妊娠高血圧症候群の発症リスクに関しては、海外における一部の報告では、発症リスクが増加したという報告もあるものの、薬事承認において用いられた臨床試験では、発症リスクは増加しませんでした。ワクチン接種以外にも様々な要因が影響している可能性があることから、解釈に注意が必要であるとされています。

発現割合	主な副反応
10%以上	筋肉痛（26.5%）、頭痛（31.0%）、接種部位の疼痛（40.6%）
10%未満	接種部位の紅斑、接種部位の腫脹
頻度不明	発疹、蕁麻疹

10 接種を受けられない方

- （1）発熱（通常37.5度以上）していることが明らかな方
- （2）重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな方
- （3）RSウイルスワクチンの成分によってアナフィラキシーをおこしたことがある方。
- （4）その他、医師が予防接種を受けることが不適当と判断した方

11 予防接種を受ける前に医師への相談が必要な方

- （1）今までに妊娠高血圧症候群と診断された方、あるいは発症リスクが高いと医師に判断された方
- （2）抗凝固療法を受けている人、血小板減少症または凝固障害のある方
- （3）心臓血管系・腎臓・肝臓・血液などの基礎疾患のある方
- （4）過去に予防接種後2日以内に発熱や全身性発疹等のアレルギーを疑う症状のみられた方
- （5）過去にけいれん（ひきつけ）をおこしたことがある方
- （6）過去に免疫不全の診断がなされている方、及び近親者に先天性免疫不全症の者がいる方
- （7）本剤の成分に対してアレルギーをおこすおそれのある方

12 接種を受けた後の注意事項

- （1）接種後30分間は、めまいやふらつきのほか、ショックやアナフィラキシー等がおこることがありますので、転倒に注意してなるべく安静にしてください。
- （2）体調に異常を感じた場合には、速やかに医療機関へ連絡してください。
- （3）接種当日は入浴をしても差し支えありません。接種部位を清潔に保ってください。また、いつもどおりの生活をし、はげしい運動は避けてください。

13 予防接種健康被害救済制度

一般的に、ワクチンの接種では副反応による健康被害（病気になったり障害が残ったりすること）が、極めて稀ではあるものの避けることができないことから、救済制度が設けられています。

救済制度では、予防接種を受けた方に健康被害が生じた場合、その健康被害が接種を受けたことによるものであると厚生労働大臣が認定したときは、予防接種法に基づく救済（医療費・障害年金等の給付）を受けることができます。RSウイルス感染症予防接種の場合は、接種を受けた妊婦だけでなく、出生した児への健康被害も対象となります。詳しくは小平市健康推進課までご相談ください。

問合せ 小平市健康福祉部健康推進課

〒187-0043 小平市学園東町1-19-12（小平市健康センター内）

電話：042-346-3700 Eメール：vaccination@city.kodaira.lg.jp